

気仙沼高等学校

校訓 究理創造 和親協同 至誠励業



1 基本データ

創立：平成30年
課程・学科：全日制課程・普通科
生徒数：595名
所在地：〒988-0051
気仙沼市常楽130
TEL：0226-24-3400
FAX：0226-24-3408

ホームページアドレス：
<https://kesennuma-h.myswan.ed.jp>
電子メールアドレス：
kesennuma-h@od.myswan.ed.jp
主な交通機関：
JR 気仙沼線BRT（高速バス輸送システム）で
「不動の沢」下車 徒歩10分

2 学校の特徴

キャッチフレーズ

飛翔の翼 世界へと

勉強、部活動、学校行事、交流事業など、日々あらゆる場面を通して、21世紀を生き抜く力を確実に身につけ、世界を舞台に活躍する人材を育てます。

(1) 学校の概要(沿革、環境、施設等)

本校は、昭和2年に県内9番目の旧制中学校として開校した旧気仙沼高校と、大正12年に町立実科女学校として開校した旧鼎が浦高校が、平成17年4月に再編統合され、さらに平成30年度には気仙沼西高校との統合を経て開校した学校です。3つの学校の80年に及ぶ良き伝統を継承し、活力ある教育活動や先進的な取り組みを展開して、地域の期待にこたえられる学校づくりを進めます。大学進学を中心とした多様な進路の達成に向けた学習指導(45分7時間授業)や部活動の奨励を行っています。また、国際交流・地域文化交流に積極的に取り組み、英語教育の充実を図りました。震災後は、支援事業を契機として他県の高校や各種団体との交流活動を積極的に行い、平成28年度より令和2年度まで文部科学省のスーパーグローバルハイスクール(SGH)に指定され、令和3年度からはSGHネットワーク校として、海を素材とするグローバルリテラシーの育成を目指しています(平成30年度 ESD 大賞文部科学大臣賞受賞)。

(2) 教育方針

- 新しい時代に対応できる学力の形成を図り、創造的な能力の啓発に努め、国家及び社会の形成者としての資質を養う。
- 心身を鍛え、豊かな情操と協同の精神を培い、個性の伸長を図る。
- 地域の自然や文化を尊び、国際的視野に立ち、志の実現を自ら目指し学び続ける人材を育成する。

(3) 教育課程の特徴

本校の教育課程は、一人一人の進路目標を第一に考えた教育課程です。大学入試制度の変更にも十分対応しています。1年生は全クラス共通の授業で、学習の基礎・基本をしっかりとし身につけます。2年生は、創造人文類型、創造理数類型の2類型に分かれて学習しています。創造人文類型は国語で、創造理数類型は理科で単位数を増やしています。また、両類型とも課題研究で課題解決型学習に多く取り組みます。3年生は、具体的な進路希望に応じた科目を選択し、学習します。

(4) 行事・生徒会活動・部活動

主な行事予定は以下のとおりです。

- 4月 生徒会入会式、部紹介
- 5月 生徒総会、高校総体壮行式
- 7月 球技大会・運動祭
総合的な探究の時間最終発表会
- 8月 文化祭
- 9月 台湾研修(2年)
- 11月 生徒総会
- 12月 修学旅行(2年)
- 1月 地域社会研究・課題研究・総合的な探究の時間全体発表会

運動部は16部、文化部は15部あり、毎日質の高い活動が展開されます。令和6年度は、フェンシング部が全国高等学校総合体育大会男子学校対抗優勝、個人対抗男子フルーレで優勝、同男子エペ・同女子フルーレ出場、さらに、第49回全国高校選抜大会では男子団体フルーレ出場という結果を残すなど、全国屈指の強豪です。文化部では、文芸部とマンドリン部が第48回全国高等学校総合文化祭に参加しました。また、文芸部は第19回全国高校生短歌大会(短歌甲子園2024)団体戦出場、個人最優秀作品賞、話題作品賞、第9回高校生万葉短歌バトル in 高岡団体戦準優勝、マンドリン部は全国高等学校ギター・マンドリン音楽コンクールに出場しました。その他の活動では、高校生地産地消お弁当コンテスト(宮城県主催)県知事賞や優秀賞を受賞し商品化されました。学校行事はいずれも生徒主体で運営され、笑顔と活気に満ちています。

(5) 卒業生の進路状況

進路一覧(過去3年間、進学者・就職者数)

進路	R6	R5	R4
国公立大学	40	37	41
国公立短大	1	2	2
私立大学	75	89	89
私立短大	11	2	6
専各学校	40	51	50
就職	19	17	19
その他	12	8	9
卒業生計	198	206	216

主な進路先(令和7年3月卒業生)、
()内は人数 (1)は省略。

<国公立大学>

北海道大学、室蘭工業大学、弘前大学、秋田大学、岩手大学(5)、宮城教育大学(6)、山形大学(4)、福島大学(3)、茨城大学(2)、群馬大学、埼玉大学、千葉大学、新潟大学、金沢大学、岐阜大学、札幌市立大学、名古屋立大学、岩手県立大学(4)、宮城大学(3)、高崎経済大学

<私立大学>

早稲田大学(2)、中央大学(2)、成蹊大学(2)、明治学院大学(4)、獨協大学、日本大学(2)、東京電機大学、大東文化大学、国士舘大学(2)、桜美林大学、日本体育大学(2)、神奈川大学(4)、国際医療福祉大学、酪農学園大学、東北学院大学(10)、東北福祉大学(9)、東北医科薬科大学(2)、東北工業大学(3)、宮城学院女子大学、東北生活文化大学、東北文化学園大学(3)、石巻専修大学、仙台大学(2)、東北芸術工科大学(4) 他

<専修各種学校>

気仙沼市立病院附属看護専門学校(9)、石巻赤十字看護専門学校(2)、仙台大原簿記情報公務員専門学校(3)、東北電子専門学校 他

<就職>

国家公務員一般事務(5)、国家公務員税務、刑務官、警視庁警察行政職員、宮城県職員一般事務(2)、宮城県警察官、石巻市職員一般事務、登米市職員消防士、東日本旅客鉄道株式会社、気仙沼信用金庫 他

3 学校魅力発信

(1) 本校生徒の活躍

フェンシング部インターハイV!

フェンシング部は令和6年度全国高等学校総合体育大会で男子学校対抗フルーレ、個人対抗男子フルーレで見事優勝の栄誉を勝ち取り、地元気仙沼市で祝賀パレードが行われました。男女ともその他多くの大会で入賞実績を誇り、我が国の高校フェンシング界を代表する部として活躍しています。



パレードの様子

マンドリン部 2つの全国大会出場

マンドリン部は令和6年7月27～28日に大阪府吹田市で開催された「全国高校ギター・マンドリン音楽コンクール」と、8月4～5日に岐阜市で開催された「第48回全国高等学校総合文化祭 清流の国ぎふ総文2024 器楽・管弦楽部門」に出場しました。全国高等学校総合文化祭には令和7年度の出場も決定しています。



文芸部も全国有数の強豪に!

令和6年8月16～18日、盛岡市で開催された「第19回全国高校生短歌大会(短歌甲子園2024)」で、本校文芸部は個人戦最優秀作品賞、話題作品賞を受賞しました。また、各種文芸雑誌への作品掲載や、気仙沼市内での展示会や歌会の開催など、活動の幅をさらに広げています。



お弁当コンテスト連続入賞 (今回は野球部も!)

令和6年度高校生地産地消お弁当コンテストにおいて、本校調理部員による「政宗さんもびっくり!! 陸奥の恵み弁当」が最高賞である宮城県知事賞を、野球部員による「気仙沼風かつおガパオライス～食トレ!スタミナもりもり弁当～」が優秀賞をそれぞれ獲得し、令和7年2月に期間限定発売され好評を博しました。



(2) 主な学校行事

球技大会

例年7月上旬に、2日間にわたって行われ、バスケットボール、バレーボール、ミニサッカー、卓球、ポッチャの各種目(実施種目は毎年検討)を行い、クラスごとに競い合います。クラスで一致団結し、楽しそうに競技を行う姿が印象的です。令和7年度はこれまで10月に実施していました運動祭(運動会的行事)と合わせ、気仙沼市総合体育館(ケー・ウェーブ)で実施予定です。



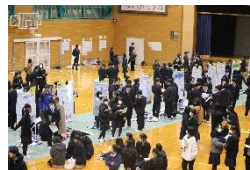
気高祭

毎年8月最終金・土曜日に開催されます。文化部各部の発表・展示、ビブリオバトル、動画コンテスト等、充実した企画が行われます。ハイクオリティな文化部の発表・展示や、工夫が凝らされたクラス動画を全校生徒が楽しめます。

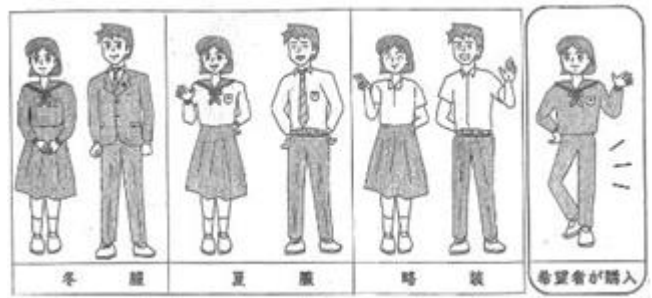


探究活動発表会

本校では1学年「地域社会研究」2学年「課題研究」全学年「総合的な探究の時間」と、生徒全員が探究学習に取り組んでいます。その成果を7月と1月に公開で発表しています。アドバイザーとして大学の先生方や地域のNPO法人の皆さんをお招きし、探究の成果を発表します。



(3) 学校制服紹介

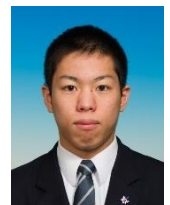


令和6年度本校学校紹介パンフ『日日は気高』より

2005年の統合に伴い、スーツタイプの男子制服を制定しました。女子は、長年地元で支持されてきた旧鼎が浦高校の制服デザインを引き継いでいます。また、女子生徒向けスラックスも導入しています。

4 在校生からのメッセージ

高校生活は、人生の中で大きく成長を感じられる時期です。自分の興味や目標に対して挑戦し、学びながら日々を過ごす中で、新たな発見があるかと思います。高校には勉強や部活動、文化活動など、多岐にわたる挑戦ができる環境が整っています。どんな困難でも、頼れる教師や仲間とならきと乗り越えられます。自分自身の可能性信じ、充実した高校生活を送ってください。



生徒会長 柏 武尊(3年)



気仙沼高校は、多くのことに挑戦できる機会がある場所です。勉強や部活動、探究活動などを通して、自分自身の様々な力を伸ばすことができます。それだけではなく、皆さんを支えてくださる素敵な先生方もいらっしゃいます。このような恵まれた環境はとても貴重だと思います。これからの高校生活を全力で楽しんでいきましょう!

生徒会副会長 熊谷 悠聖(3年)